

## 基本姿勢

- ・科学技術の成果の社会・国民への還元
- ・国民の理解と支持

## 理念と政策目標

- ・3つの理念を継承
  - 人類の英知を生む
  - 健康と安全を守る
  - 国力の源泉を創る
- ・より具体化された6つの政策目標の設定
  - 飛躍知の発見・発明
  - 科学技術の限界突破
  - 環境と経済の両立
  - イノベーター日本
  - 生涯はつらつ生活
  - 安全が誇りとなる国
- ・人材育成  
「モノから人へ」「機関における個人の重視」
- ・競争的環境の醸成の重要性を強調

## 科学技術の更なる戦略的重点化

- ・基礎研究の推進
- ・重点4分野の更なる重点化
  - ライフサイエンス
  - 情報通信
  - 環境
  - ナノテクノロジー・材料
- ・新たな政策ニーズ(安全・安心、国の発展の基幹としての科学技術)への対応

## 政府研究開発投資

- ・第2期期間中における実績等を踏まえて目標を設定

## 科学技術活動の国際化の推進

- ・政策目標の明確化
- ・国際化施策の戦略的推進体制の強化

## 第3期科学技術基本計画の策定スケジュール

H16年	10月21日	・総合科学技術会議で「基本政策専門調査会」の設置を決定(科学技術基本政策の検討を行う)
	12月20日	・基本政策専門調査会 第1回開催 (以降、月1回のペースで開催)
H17年	12月27日	・諮問第5号「科学技術に関する基本政策について」
	6月16日	・第3期科学技術基本計画の中間とりまとめ
H18年	12月頃 (予定)	・第3期科学技術基本計画の原案とりまとめ
	3月頃 (予定)	・第3期科学技術基本計画の策定(閣議決定)

本資料は 総合科学技術会議 基本政策専門調査会 (第9回:H17.6.15) 配布資料等に基づき作成

# 科学技術により切り拓く **6つの政策目標** と国民・社会・世界への貢献

～ 3つの理念を実現するための6つの政策目標：「科学技術は何を目指しているのか」についての国民への説明責任～

<理念1> **人類の英知**を生む

<目標1>

## 飛躍知の発見・発明

～ 未来を切り拓く多様な知識の蓄積・創造

- (1) 新しい原理・現象の発見・解明
- (2) 非連続な技術革新の源泉となる知識の創造

<理念2> **国力の源泉**を創る

<目標3>

## 環境と経済の両立

～ 環境と経済を両立し持続可能な発展を実現

- (4) 地球温暖化・エネルギー問題の克服
- (5) 環境と調和する循環型社会の実現

<理念3> **健康と安全**を守る

<目標5>

## 生涯はつらつ生活

～ 子供から高齢者まで健康な日本を実現

- (9) 国民を悩ます病の克服
- (10) 誰もが元気に暮らせる社会の実現

<目標2>

## 科学技術の限界突破

～ 人類の夢への挑戦と実現

- (3) 世界最高水準のプロジェクトによる  
科学技術の牽引

<目標4>

## イノベーター日本

～ 革新を続ける強靱な経済・産業を実現

- (6) 世界を魅了するユビキタスネット社会の実現
- (7) ものづくりナンバーワン国家の実現
- (8) 科学技術により世界を勝ち抜く産業競争力の強化

<目標6>

## 安全が誇りとなる国

～ 世界一安全な国・日本を実現

- (11) 国土と社会の安全確保
- (12) 暮らしの安全確保

地球規模で深刻化する**人口問題、環境問題、食料問題、エネルギー問題、資源問題**や

我が国で急速に進展する**少子高齢化**に対して

**政策目標1～6を達成することにより...**

**((科学技術による世界への貢献))**

人類共通の課題を解決  
国際社会の平和と繁栄を実現

**((科学技術による社会への貢献))**

日本経済の発展を牽引  
国際的なルール形成を先導

**((科学技術による国民への貢献))**

国民生活に安心と活力を提供  
質の高い雇用と生活を確保

## 国家理念と科学技術の政策目標

理念	大政策目標	中政策目標	個別政策目標例
<b>&lt;理念1&gt;</b> <b>人類の英知を生む</b> (((第2期基本計画))) 知の創造と活用により世界に貢献できる国の実現	<b>&lt;目標1&gt; 飛躍知の発見・発明</b> ~未来を切り拓く多様な知識の蓄積・創造  <b>&lt;目標2&gt; 科学技術の限界突破</b> ~人類の夢への挑戦と実現	(1) 新しい原理・現象の発見・解明	世界的な競争の中で以下のような研究成果を創出 研究者の発意に基づく基礎研究による多様な知識の創造 異分野融合による新たな知識の創出 知識の統合による新たな知識体系の確立 人類的課題解決のための知識の創造
		(2) 非連続な技術革新の源泉となる知識の創造	先端研究施設・設備を活用する限界の突破 宇宙・海洋・地球科学の限界領域の探求 超高温環境の克服により未来のエネルギー源となる安定な核融合反応の実現
<b>&lt;理念2&gt;</b> <b>国力の源泉を創る</b> (((第2期基本計画))) 国際競争力があり持続的発展ができる国の実現	<b>&lt;目標3&gt; 環境と経済の両立</b> ~環境と経済を両立し持続可能な発展を実現  <b>&lt;目標4&gt; イノベーター日本</b> ~革新を続ける強靱な経済・産業を実現	(3) 世界最高水準のプロジェクトによる科学技術の牽引	世界で取り組む地球観測と正確な気候変動予測と影響評価の実現 温暖化ガスを効果的に排出削減する技術の実用化 世界を先導する省エネルギー社会の実現 世界で利用される新たな環境調和型のエネルギー供給の実現 水素利用社会に向けた燃料電池の本格導入 世代を超えた安全な原子力の利用
		(4) 地球温暖化・エネルギー問題の克服	我が国発のバイオマス利用技術による生物資源の有効利用 3R(発生抑制・再利用・リサイクル)による資源の有効利用と廃棄物の削減 持続可能な生態系の保全と利用 健全な水循環と持続可能な水利用 環境と調和する化学物質のリスク管理
		(5) 環境と調和する循環型社会の実現	光・モバイル・情報家電の強みを活かし世界を先導する次世代ネットワークの実現 モノとモノを情報でつなぎ便利に利用する電子タグの実用化 ライフスタイルに革命をもたらす次世代ロボットの実現 誰でもストレスなく簡単に使えるやさしいコミュニケーション技術の実用化 現在の半導体の動作限界を打ち破る革新的デバイスの実現 世界を惹き付けるデジタルコンテンツの制作・流通の加速化
		(6) 世界を魅了するユビキタスネット社会*の実現	ナノテクノロジーを駆使するものづくり革命 革新部材、バイオテクノロジーやITを駆使する先端ものづくりの実現 材料から製品・サービスまでの産業集積の強みを活かすものづくりの進化
<b>&lt;理念3&gt;</b> <b>健康と安全を守る</b> (((第2期基本計画))) 安心・安全で質の高い生活のできる国の実現	<b>&lt;目標5&gt; 生涯はつらつ生活</b> ~子供から高齢者まで健康な日本を実現  <b>&lt;目標6&gt; 安全が誇りとなる国</b> ~世界一安全な国・日本を実現	(7) ものづくりナンバーワン国家の実現	国際競争力ある航空・宇宙利用・海洋利用技術の実現 日本と世界の食卓に提供される食料・食品づくり 最小の資源・エネルギーと環境負荷で最大の付加価値を生む製品・サービスの実現 バイオテクノロジーを駆使する医薬と医療機器・サービスの実現 (印は、大政策目標4以外の政策目標の成果が国際競争力を確立するもの)
		(8) 科学技術により世界を勝ち抜く産業競争力の強化	ゲノム情報を活用した生体機能の解明により生活習慣病や難病を克服 免疫メカニズムの解明による免疫・アレルギー疾患の克服 バイオテクノロジーとITやナノテクノロジーを融合した新たな医療の実現
		(9) 国民を悩ます病の克服	予防医学と食の機能性を駆使する生涯健康な生活を実現 脳科学の進歩によりこころとからだの健康を保ち、自立しはつらつとした生活を実現 失われた人体機能を補助・代替・再生する医療の実現 年齢や障害に関係なく楽しめるユニバーサル生活空間・社会環境の実現
		(10) 誰もが元気に暮らせる社会の実現	災害に強い新たな減災・防災技術の実用化 既存のインフラや建物を活かした安全で調和のとれた国土・都市の実現 安全で快適な新しい交通・輸送システムを構築 各種テロを予防・抑止するための新たな対応技術の実用化 様々な海外からの脅威の侵入を事前かつ的確に監視・捕捉する技術の実用化 資源・燃料の安定供給
		(11) 国土と社会の安全確保	新興・再興感染症の克服 食の安全と信頼の確保 深刻化する犯罪から国民を守る新たな技術の実用化 堅固な情報セキュリティシステムの実現
		(12) 暮らしの安全確保	

\*ユビキタスネット社会：あらゆるヒトやモノが、いつでも、どこでも情報通信技術で思い通りにつながることで、便利に安全・快適に暮らせる社会